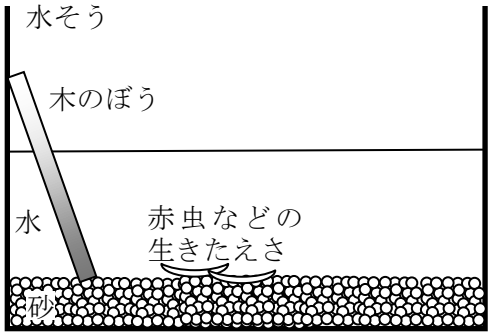
（仮称）長野市立長野中学校　入学者選抜（試行）　適性検査（試行）　正答・正答例及び評価基準

※（例）として示されている問題では、誤字、脱字、文法上の誤り等は、それぞれ1箇所につき1点の減点とする。ただし、問題冊子にふりがなが振られた漢字の誤字については、減点の対象としない。

問題番号			正答または正答例	配点（100点）			評価上の留意事項
問	小問			小問	小計	計	
1	(1)	(あ)	69（68、70も可）	2	8	35	
		(い)	25（26も可）	4			
		(う)	4	2			
	(2)		(例)資料：資料1　資料2 どうして市民1人が1日に出す家庭ごみの量は全体的にへってきているのに、平成23年から市民1人当たりのごみしょ理費用が、大きくふえているのか。	5	10		正答例と同等の内容が記述されているものは、正答とする。
			(例)資料：資料2　資料3 なぜ平成22年からごみのリサイクル率があまり変わらないのに、市民1人当たりのごみしょ理費用はふえているのか。	5			
	(3)	年度	平成25年度	10	10		年度と理由、全て正しい場合のみ正答とする。
		理由	(例)平成22年度から平成24年度は、ごみ収集量・搬入量が同じ割合で89%。ごみ総量は平成23年度と平成24年度が同数で、平成22年度より多い。また、平成25年度はごみ収集量・搬入量の割合が一番多いが、ごみ総量は、平成23年度、平成24年度より少ない。そこで、平成24年度と平成25年度を比べて、 平成24年度のごみ収集量・搬入量は、135000×0.89=120150 平成25年度は、134000×0.90=120600 よって、平成25年度がもっとも多い。 (別解) 平成22年度　133000×0.89=118370 平成23年度　135000×0.89=120150 平成24年度　135000×0.89=120150 平成25年度　134000×0.90=120600 よって、平成25年度がもっとも多い。				
	(4)	取組	(例1)ペットボトルのまわりの包そうを取り、プラゴミとして出す。 (例2)つめかえ用の洗ざいやシャンプーを使う。 (例3)サイズが合わなくなった服を他の人にゆずる。	3	7		正答例と同等の内容が記述されているものは、正答とする。
		理由	(例1)分別をきちんとすれば、プラスチックの包そうはリサイクルされることになるから。 (例2)容器を新しく買う必要が無いので、ごみそのものが減ることになり、リデュースの考え方に合っているから。 (例3)服を他の人がリユースすれば、ごみとして出す必要がないから。	4			
2		枚数	78枚	2	10	10	解答例の他に、図3の模型を使って作図して説明し、78枚とした解答も正答とする。
		求め方	(例)木をはる部分の面積の合計を求め、板の面積である「8」で割れば、枚数が求められる。 面積は、12×8×4＋8×8×2=512（側面） → 12×8×3+4×8×3+8×8×2=512も可 12×12－8×4=112（上の面） (512＋112)÷8=78	8			

問題番号			正答または正答例	配点			評価上の留意事項
問	小問			小問	小計	計	
3	(1)	記号	(例)　あ　う　え　　い　　お	6	6	16	グループ分けと、理由が正しい場合のみ正答とする。
		理由	(例)「あ、う、え」は昆虫、「い」は魚、「お」は昆虫ではないから。 (別解)「あ、う、え」は足が 6 本、「い」は足がなく、「お」は足が 8 本だから。				
	(2)		(例)  	5	5		「水」、「えさ」、「水面から出ている木の棒」の 3 つすべてがかかれている場合のみ正答とする。その他、水草や空気などがかかれていても加点はしない。
	(3)		(例) 水　生活する場所として必要だから。 えさ　食べて成長するために必要だから。 ※「えさ」の例（赤虫、メダカ、ミミズなどの生餌も可） 木のぼう　よう虫から成虫になるときに、水面から出てくるために必要だから。(羽化するために必要だから　も可)	5	5		3 つの説明がすべてふさわしいものを正答とする。 正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。
4	(1)	番号	2、8、9	3	9	16	全て正しい場合のみ正答とする。
		理由	(例) 緑さんは、ふれはばを小さくすれば、ウサギが速く動くと予想しているので、ふりこの長さ、おもりの重さは変えずに、ふりこのふれはばだけを小さくした実験番号 8、9 と、最初の条件である実験番号 2 の 1 往復する時間を比べれば予想を確かめられる。	6			正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。
	(2)	記号	ウ	3	3		
	(3)		(例) ウサギをカメよりも速くするためには、(おもりの重さやふれはばは変えずに、) ふりこの長さを(50cm より)短くすればよい。	4	4		正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。
5	(1)	①	死角	3	6	23	
		②	資格	3			
	(2)	③	がん	3	6		
		④	もく	3			
	(3)	ア	眼科	3	6		
		イ	目標	3			
	(4)		(例)　母はあまい物に目がない。(12 字) (例)　ぼくは父の目をぬすんでぬけ出した。(17 字) (例)　私は目が回るくらい忙しい。(13 字) (例)　妹はびっくりして目を丸くした。(15 字)	5	5		正答例と同等の内容が記述されているものは正答とする。

（仮称）長野市立長野中学校　入学者選抜（試行）　作文（試行）　評価の観点及び基準

※作文の条件に一致しない場合は、不可とします。

問	正答例	評価の観点及び基準	配点（50 点）
1	省略	1　問題のテーマを把握しながら、情報や条件を読み取り表現している。 2　問題の条件を満たす体験や学習した内容を表現している。 3　内容を整理し、相手に伝わるように論理的に表現している。 4　誤字・脱字・指定したとおり原稿用紙を使用していない場合等は減点。	30
2	省略	1　自分が取り組みたいことを的確に表現している。 2　自分が取り組みたい理由を分かりやすく表現している。 3　自分が取り組みたいことの方法を具体的に表現している。 4　論理的に内容を整理し、相手に伝わるように表現している。 5　誤字・脱字・指定したとおり原稿用紙を使用していない場合等は減点。	20